

川俣高校の 卒業生が語る



今年度、川俣高校を卒業する川俣町出身の生徒の皆さんに卒業後の進路と川俣高校での思い出をお聞きしました。

東 北学院大学経済学部に進学します。地域に貢献できるような人になれるように頑張りたいです。川高に入学し、フェンシング部でインターハイに出場できたことは、人生の中でもとてもいい経験になったと思います。

田中 朝陽^{ともはる} さん



福 島学院大学マネジメント学部に進学します。卒業後、地元で活躍できるように4年間しっかり勉強したいと思います。「かえで祭」では、同級生の人々と協力して動画を制作し、しっかりと発表できたことが嬉しかったです。

高橋 昌平^{しょうへい} さん



C RS スポーツ工業株式会社に就職します。選手を支えられる製品を作ること、そして一人の大人として成長できるように精一杯働こうと思います。川高は男女関係なく仲良しで1人ひとり丁寧に勉強を教えてくださいるところが魅力です。

齋藤 彩音^{あやね} さん

福 島県農業総合センター農業短期大学校水田経営学科に進学します。卒業後は地域の農業発展や耕作放棄地の減少のため働きたいです。修学旅行で行った清水寺で住職から自分に向けた漢字を書いてもらったことが印象深いです。

渡辺 蒼汰^{そうた} さん



川 俣町役場に就職します。どの部署に配属されても住民のために頑張って仕事に取り組みたいです。川俣高校は、団結力と良い人間関係が築きやすく、同じ目標に向かって進んでいけるところが魅力だと思います。

菅野 真弘^{まひろ} さん



仙 台総合ペット専門学校の飼育管理科に進学します。動物の飼育員になるため、適切な飼育方法について学んだり資格を取得したいです。川高では授業で野菜作りをして地域の人と交流する機会があり、とても良かったなと思います。

渡邊 由佳^{ゆか} さん



川俣町の男女共同参画推進事業の取組として、福島県女性会議代表の石山純恵氏を講師にお招きし「アンコンシヤス・バイアス（以下・アンコン）の解消に向けて」と題した講演会開催しました。皆さんは「アンコン」という言葉の意味はご存知でしょうか。アンコンとは、誰もが持っている無意識の思い込みや偏った考えのことを指します。講師の石山氏によると「日常にあふれており、無意識の思い込みによって、人の可能性を狭めてしまう可能性がある」ということでした。自分に当てはめて考えてみると、「私の頃はこうだった」「私だったらこうしたけど」「あなたは女性だから」など、日常的にそのような言葉を無意識のうちに使っていたのではないかと反省の念に駆られるばかりでした。今回の講演を機に、「アンコン」について、より理解を深め、女性と男性の壁はつくらないように努めなければと実感しました。

町長のひとこと vol.47

